

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 中井 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

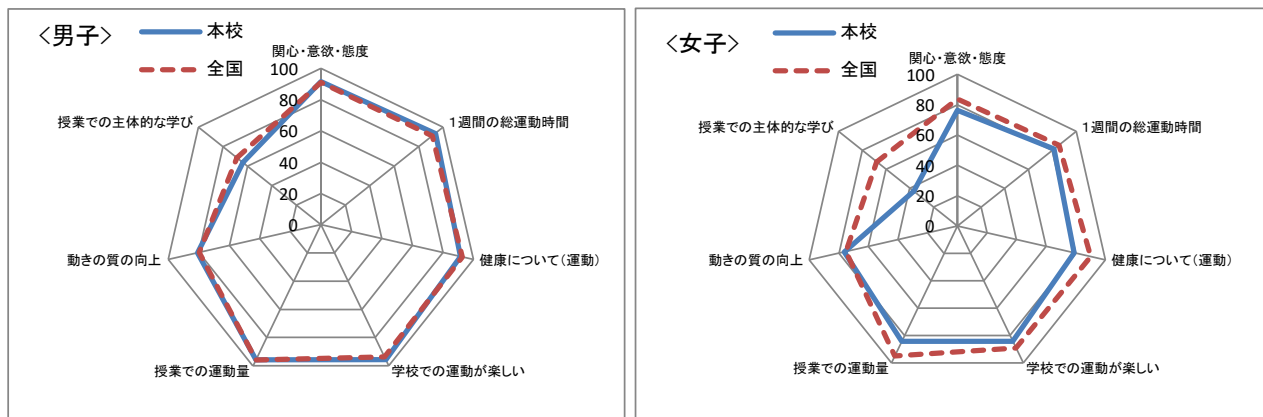
### 2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

今年度、体力テストを実施しなかったため、自分の課題を把握し、体力向上に向けた自分なりの目標をもたせることが難しかった。そのため、特に女子において、目標設定への意識が低かった。全体として、体育科の学習の中での児童の学習意欲は低くないため、目指す動きを意識して、そこに向けてめあてを立てて学習することで、主体性が高まると考える。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

児童が主体的に学習に取り組めるように学習内容を工夫する。具体的には、目指す動きを導入で示し、その動きに向けた学習のめあてを立てられるようにする。また、運動が苦手な児童が主体的に学習に取り組めるように、スモールステップの場や課題に応じた場を設定する。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

6月に実施する新体力テストの結果をもとに課題分析し、重点的に取り組む項目や運動を決める。また、各学年の目標記録を提示したり、外で元気よく遊ぶことを推奨したりして、児童が自ら体力向上に取り組めるようにする。